

救命病棟に入院された患者さんへ

福岡東医療センター 栄養管理室で以下の研究を実施しています。

この研究は、過去の診療情報を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」と呼ばれる学術活動です。過去に実施された検査の結果等の診療情報等を利用しますので、患者さんに新たにご負担いただく検査や治療はありません。また、学術論文や学会で公表する場合も、個人情報の保護には十分配慮し、第三者には誰のものか一切わからないようにします。

患者さんにはご自身の診療情報が使用されることを拒否する権利があります。本研究の対象に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に使用されることを希望されない場合は下記の問い合わせ先にご連絡ください。既に学会や論文発表が行われている場合はデータを削除できない場合がありますのでご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、患者さんが診療上で不利益を被ることはありません。

【研究課題名】	救命病棟入院患者における早期栄養介入の効果と課題
【研究実施期間】	2024年10月8日～2025年3月31日
【研究実施機関・研究責任者】	独立行政法人国立病院機構 福岡東医療センター 栄養管理室 研究責任者 中川 聡華
【対象となる方】	西暦2023年6月1日から2024年8月31日の期間に3日以上救命病棟に入院し、診療を受けた方、162名
【研究の意義、目的、方法】	当院の救命病棟においては2022年12月より早期栄養介入管理加算取得を開始しています。重症病態に対する治療を開始した後24時間以内、遅くとも48時間以内に経腸栄養を開始する事がガイドラインで推奨されています。現在、48時間以内の経腸栄養開始を目指しスクリーニング・アセスメント等行っていますが、経腸栄養が禁忌とされない症例においても開始できていないという課題があります。本研究では、当院救命病棟において早期栄養介入の効果と課題を把握し、効率的・効果的な介入を目指すことを目的とします。
【利用する情報の種類】	年齢、性別、診療科、既往疾患、在院日数、食事オーダ歴、食事摂取量及び栄養投与量が使用されます。
【個人情報の保護】	研究に際して、生年月日、カルテ番号、住所、氏名などの個人が特定できる情報は収集しません。また、研究の結果を公表する際も個人が特定できないよう配慮いたします。
【問い合わせ先】	独立行政法人 国立病院機構 福岡東医療センター 研究責任者： 栄養管理室 中川聡華 住所：〒811-3195 福岡県古賀市千鳥1-1-1 電話番号：092-943-2331（代表）

